

## 第2学年 音楽科 年間指導計画

音楽科の目標				第2学年の目標										学習指導要領の内容						共通事項		評価資料			
学期	月	題材名	評価規準	主な教材	時	評価基準										表現			創作			鑑賞			授業観察
						知識、技能					思考・判断・表現					主体的に取り組む態度					表現	創作	鑑賞		
一 学 期	4	情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして歌おう。	曲想や歌詞の繋ひつきや伴奏の変化に注目し、曲にふさわしい表現を工夫する。	「夏の思い出」	3	リズムや音の重なり方の特徴を理解し、歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身につけています。	リズムや音の重なり方の特徴から曲想の変化を感じ取り、どのように歌い表現していくかについて思いや意図を持つている。	正しい姿勢や、視線、口の開け方、声にについてのさまざまな課題について自ら課題をもって取り組むことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	音色・リズム・強弱・リズム・構成	ワーキシート授業観察		
						音楽の構造と曲想の関わり合いを理解し、パロップ音楽のよさや美しさを味わう。	パッハ作曲「フーガト短調」	2	バイオルガンの音色の特徴、主題の反復と変化、多声音樂の特徴、フーガの構成を理解・知覚している。	バイオルガンの音色の特徴、主題の反復と変化、多声音樂の特徴、フーガの構成、感じたことを自分の言葉でまとめることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	音色・形式・テクスチャ・構成	ワーキシート授業観察	
	5	旋律の重なり方、オルガニンの音色、パロック音楽に親しう。	器楽演奏に親しもう	リコーダー演奏「さんぽ道」「威風堂々」「ドーナツ・スター・スター」	5	正しい指使いや演奏方法を身に付け、曲にふさわしい表現をすることができる。			音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	旋律・音色構成	授業観察ワークシート		
						歌詞や旋律との関りを感じ取りながら曲の持つ情緒を味わい表現を工夫する。	「サンタルチア」	5	カンソーネについて調べ、イタリア語の発音と発声を身につけて歌える。歌詞の内容を理解し、日本語の持つ抑揚とリズムを生かした表現をするための技術を身につけている。	歌詞の構成と曲の形式との関わり合いを理解し、強弱の変化や速度の変化に留意し、どのように表現していくかについて思いや意図を持っています。	歌詞の内容や、歌詞と旋律の関り、曲想に關心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	リズム・旋律・形式・構成・音色	実技テスト提出物	
	6	曲の持つ情緒を味わしながら特徴を生かして表現豊かに独唱しよう。	音楽表現と旋律の重なり方を感知り表現しよう	「時の旅人」	5	声部の役割や全体の響きなどを感じ取って曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	主旋律・オーフィガート・ハーモニーといった声部の役割について理解を深め、その役割に適した音楽表現を工夫して歌うことができる。	音楽が形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じ、どのように歌っていくか工夫して表現することができる。	他声部を聴きながら、主旋律に合わせて合唱に取り組むことができる。頭声を声をいかげん美しい音色を身につけようとして取り組むことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	音色・リズム・旋律・強弱・形式	授業観察実技テスト			
						合唱コンクール自由曲	6	歌詞の内容や曲想表現にふさわしい音楽表現をするために必要な技術を身につけて歌うことができる。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じ、どのように合唱していくかについて思いや意図を持っている。	歌詞の内容や、歌詞と旋律の関り、曲想に關心を持ち、クラス合唱としての音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	旋律・音色構成	授業観察		
二 学 期	9・10	パートの役割や旋律の重なり方、曲想を感じ取り、速度や強弱を工夫して表現を深めよう。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きなどを感じ取って曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	ソナタ形式の仕組みや、オーケストラの楽器と響きを理解し、古典派の音楽の良さや美しさを味わう。	交響曲第5番「ハ短調」譜面から1楽章「ベートーヴェン作曲」	4	オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機や旋律の組み合わせ方、ソナタ形式や構造を知覚し、感受している。	リズムや音の重なり方の特徴から曲想の変化を感じ取り、どのように歌い表現していくかについて思いや意図を持っている。	リズムや音の重なり方の特徴を理解し、歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身についている。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じ、どのように合唱していくかについての必要な技能を身についている。	オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機や旋律の組み合わせ方、ソナタ形式や構造と曲想との関わりを理解して、歌詞のよさや美しさを味わっている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	旋律・音色構成・リズム・テクスチャ	実技テスト		
						ソナタ形式の仕組み、オーケストラの楽器と響きを理解し、古典派の音楽の良さや美しさを味わう。	オペラ作品「アイーダ」他	9	オペラという舞台芸術に關心を持ち、その成立から歴史的背景について理解を深めることができます。声の特徴の違いを聞き分け、その良さを伝え味わうことができる。	声の特徴や音色、旋律、テクスチャなどを知覚し、それらの要素と曲想の関りを理解して、オペラという総合芸術が多くの方の支持を得て発展してきたことを根拠をもって説明し、味わって聽くことができる。	オペラについて、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や芸術との関連に關心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	旋律・音色構成・リズム・テクスチャ	ワーキシート授業観察		
	11	舞台芸術・オペラ作品に親しもう	音楽の特徴や魅力について他の分野の芸術との関りを理解しながら味わい、その良さの根拠を言葉で説明したり、表現の工夫に生かしたりする。			1	パートの役割や旋律の重なり方、曲想を感じ取り速度や曲想を生かした表現を工夫しよう。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きなどを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	卒業式歌入式歌	6	リズムや音の重なり方の特徴を理解し、歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身につけています。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じ、どのように合唱していくかについて思いや意団を持っています。	混声四部合唱の各声部の役割を知覚し、お互いの響きを感じ取って、より良い合唱を目指すために主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	旋律・音色構成	ワーキシート授業観察提出物
						2																	旋律・音色構成	実技テスト	
三 学 期	3					1																	旋律・音色構成	定期テスト	